



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月10日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	2,464	376.7	230	21,148.2	222	—	213	—
25年11月期第3四半期	516	△86.1	1	—	△15	—	△16	—

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 210百万円 (4,624%) 25年11月期第3四半期 4百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	5.79	5.78
25年11月期第3四半期	△0.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第3四半期	1,990	1,489	74.7	40.32
25年11月期	2,741	1,261	46.0	34.30

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 1,489百万円 25年11月期 1,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,728	266.2	179	347.5	176	633.3	167	659.1	4.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名）FTG合同会社
除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年11月期3Q	37,067,371株	25年11月期	37,067,371株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	127,500株	25年11月期	277,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年11月期3Q	36,894,981株	25年11月期3Q	36,789,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日～平成26年8月31日）における国内経済は、政府による経済政策及び日本銀行による金融緩和政策や各種経済政策を受けて、企業業績の向上や個人消費の改善が見られ、デフレ脱却へ向け着実に前進し、緩やかながら景気回復を続けています。

当社グループの主要事業である不動産業界では、金融緩和による良好な資金調達環境を背景に不動産の取引は活性化し、また、多くのJ-REITが公募増資を実施する等不動産市場の回復はより鮮明になりつつあります。太陽光発電業界におきましては、電力の固定買取制度を活用した安定運用ニーズや、グリーン投資減税の活用ニーズ等を背景に、メガソーラの計画・開発が全国各地で行われるなど市場規模が拡大しております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、当第3四半期連結累計期間も引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて営業力の強化を図り、積極的に営業活動を行って参りました。また、新たな不動産ファンドや投資家ニーズにあった証券ファンドの開発に努めて参りました。太陽光発電ファンド事業におきましては、第1号ファンドである「福岡川崎ソーラーファンド」を組成することができました。また、第2号ファンドである「福岡田川ソーラーファンド」の開発を行い、募集を開始いたしました。インベストメントバンク事業におきましては、販売用不動産物件の売却により、売却収益を計上することができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,464百万円（前年同四半期比376.7%増）、営業利益230百万円（前年同四半期の営業利益は1百万円）、経常利益222百万円（前年同四半期の経常損失は15百万円）、四半期純利益213百万円（前年同四半期の四半期純損失は16百万円）となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は156億円（一部円換算US\$1.00=103.74円）、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は201億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等146百万円を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等67百万円を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業では開発アレンジメントフィー等203百万円を計上しました。この結果、アセットマネジメント事業は、売上高417百万円（前年同四半期比151.3%増）、営業利益140百万円（前年同四半期の営業損失は30百万円）となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、販売用不動産等の売却による収入2,003百万円と不動産賃貸収入28百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等14百万円を計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業は、売上高2,046百万円（前年同四半期比483.5%増）、営業利益216百万円（前年同四半期比69.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末比732百万円減少の1,776百万円となりました。これは主に、販売用不動産の減少等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比17百万円減少の214百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券等の株価下落による減少であります。

以上の結果、資産の部は1,990百万円となり、前連結会計年度末比750百万円の減少となりました。

(負債の状況)

流動負債は前連結会計年度末比946百万円減少の486百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比31百万円減少の14百万円となりました。これは主に、その他固定負債の減少によるものであります。

以上の結果、負債の部は501百万円となり、前連結会計年度末比977百万円の減少となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比1,008百万円減少の317百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産の部は1,489百万円となり、前連結会計年度末比227百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益213百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月30日付で発表いたしました以下の通期の連結業績予想数値に変更はありません。なお、今後の業績等につきましてはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

売上高2,728百万円 営業利益179百万円 経常利益176百万円 当期純利益167百万円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、太陽光発電ファンド事業でF T G合同会社が太陽光発電設備開発のために金融機関から借り入れた設備取得資金に対し、当社グループが連帯保証を行ったため、実質支配力基準により新たに連結対象に含めております。なお、当該連結子会社の異動は、当第3期四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結損益計算書に重要な影響を与える見込みであります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873	512
売掛金	27	25
未収入金	8	14
有価証券	139	174
営業投資有価証券	303	319
販売用不動産	1,016	198
未成工事支出金	—	217
立替金	113	238
短期貸付金	—	58
その他	27	18
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	2,508	1,776
固定資産		
有形固定資産	21	22
無形固定資産	0	2
投資その他の資産		
投資有価証券	108	87
その他	102	102
投資その他の資産合計	210	189
固定資産合計	232	214
資産合計	2,741	1,990
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100	317
1年内返済予定の長期借入金	1,226	—
未払金	35	88
未払法人税等	6	2
預り金	33	18
前受収益	16	0
その他	15	58
流動負債合計	1,433	486
固定負債		
その他	46	14
固定負債合計	46	14
負債合計	1,479	501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	617
利益剰余金	△506	△292
自己株式	△15	△7
株主資本合計	1,219	1,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	37
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	42	37
新株予約権	—	2
少数株主持分	0	0
純資産合計	1,261	1,489
負債純資産合計	2,741	1,990

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	516	2,464
売上原価	180	1,868
売上総利益	336	596
販売費及び一般管理費	335	365
営業利益	1	230
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	5
為替差益	1	—
その他	0	0
営業外収益合計	4	6
営業外費用		
支払利息	19	6
為替差損	—	0
その他	1	6
営業外費用合計	20	13
経常利益又は経常損失(△)	△15	222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15	222
法人税、住民税及び事業税	4	6
法人税等調整額	△2	0
法人税等合計	2	7
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17	215
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16	213

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△17	215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△4
為替換算調整勘定	1	△0
その他の包括利益合計	22	△4
四半期包括利益	4	210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5	209
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネ ジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	166	254	96	516
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0
計	166	254	96	516
セグメント利益又は損失(△)	△30	61	65	96

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	96
セグメント間取引消去	28
全社費用(注)	△124
四半期連結損益計算書の営業利益	1

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネ ジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	417	2,031	14	2,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	—	—	43
計	461	2,031	14	2,508
セグメント利益又は損失(△)	140	261	△45	356

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	356
セグメント間取引消去	26
全社費用（注）	△153
四半期連結損益計算書の営業利益	230

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。